

河合 義雄先輩 第14代理事長 69回生(昭和24年卒業)

財政再建に尽力 基本財産の管理で功績を残す



昭和6年3月神戸市で誕生、昭和12年神戸雲中小学校に入学。原田校舎時代に在籍した父から県商時代の思い出話を聞くにつけ、県商への憧れが募り、昭和19年県商に入学。

戦時下、先輩は次々と学徒動員。学校舎は海軍経理学校に接收され学校諸機材を須磨若松国民学校に搬送、その後、国民学校焼失、昭和20年5月川崎造船所に動員、玉音放送で終戦を迎えた。

昭和24年新制・星陵高校商業科に編入、昭和25年3月同校を卒業し、関西大学経済学部に入學、昭和29年に卒業。

卒業後家業の内外鉱油(株)に入社、取締役社長を経て、現在取締役会長。

同窓会の会合は昭和40年頃の大松理事長時代から毎年参加、会場は私学会館、センタープラザ会議室、勤労会館ホールへと移った。

平成6年頃、元町土地の訴訟問題を解決し、平成8年6月、新たな借地人と50年定期借地権付き公正証書を締結するなどの報告を受け、先輩役員諸兄の身を削る程のご苦勞や体を張って同窓会の基本財産を守り抜かれる《県商魂》に敬意と感謝の念を強く抱いた。

本格的に同窓会に関わったのは平成16年から10年間。勝浦理事長(65回生)、宝官理事長(67回生)、谷理事長(65回生)の補佐役として副理事長を務め、谷理事長退任後の平成22年、第14代理事長に就任。平成24年、後輩の石破氏(70回生)に理事長職を引き継ぐ。。

平成16年からの10年間は、同窓会にとってまさに激動の10年であった。財政危機から始まり法人税課税問題や裁判、所有地の借地人名義書換等、その間財政再建に尽力し、不動産の知識を活かし基本財産の管理で大きな功績を残した。

《後輩(役員)へのメッセージ》

同窓会の貴重な財産の保全に努め、明るく楽しい会となりますよう願っております。

《同窓会に於ける役員履歴》

- ・平成16年 副理事長就任
- ・平成22年 理事長就任
- ・平成24年 顧問就任
- ・令和2年 相談役就任



寄贈したリス石像の前で(県商公園)